

ガソリン車 排ガス計測比較結果（計測：信濃公害研究所）

測定結果比較

1. 硫黄化合物濃度（SO_x）53.2%減

硫黄化合物濃度（SO_x）は42.8%減、排出ガス総量と掛け合わせると53.2%減

2. 窒素化合物濃度（NO_x）72%減

窒素化合物濃度（NO_x）は濃度で65.7%減、排出ガス総量と掛け合わせて72%減

3. 排ガス温度9%向上

4. 排ガス量18.1%減

計測車両

トヨタ アリオン 平成14年製 総排気量 1500cc

使用燃料 ガソリン（出光） オートマチック車両

計測条件

パーキングでアイドリング状態 エコマックス使用 2回目に計測

使用料 初回 燃料50Lに50ml 2回目 燃料40Lに20ml投入

	測定日	走行距離
エコマックス添加無	平成23年1月12日	55327Km
エコマックス使用時	平成23年1月31日	56401Km

計測結果

	エコマックス添加無	→	エコマックス使用時
1.ばいじん濃度 ばいじん量酸素補正值	0.001g/m ³ n	→	0.001g/m ³ n
2.硫黄化合物濃度(SO _x)	28ppm	→	16ppm
3.硫黄化合物排出量	0.0009m ³ n/h	→	0.0004m ³ n/h
4.窒素酸化物濃度(NO _x)	38ppm	→	13ppm
5.窒素酸化物量酸素補正值	38cm ³ /m ³ n	→	38cm ³ /m ³ n
6.水分量	1.6%	→	1.0%
7. 排出ガス温度	33℃	→	36℃
8.排出ガス流速	5.3m/s	→	4.6m/s
9. 湿り排出ガス量	33m ³ n/h	→	27m ³ n/h
10.乾き排出ガス量	32m ³ n/h	→	27m ³ n/h

排出ガス組成

	エコマックス添加無	→	エコマックス使用時
1.二酸化炭素(CO ₂)	6.4%	→	11.8%
2.酸素(O ₂)	12.4%	→	4.5%
3.窒素(N ₂)	81.2%	→	83.7%

解説

評上記の結果から燃焼が大きく向上した事がわかる。

硫黄化合物濃度 (SO_x)、窒素化合物濃度 (NO_x) とも大幅に減少した。

排出ガス組成 (%) は酸素が減り二酸化炭素が増加した。燃焼においては、二酸化炭素の組成

(%) が増えるという事は燃焼が向上したことである。地球温暖化の原因と言われている二酸

化炭素が増加したように見えるが、排ガス温度が 9%向上した事と排出ガスの総量が 18.1%

減ったことから、使用燃料が大幅に削減できる為、排出される二酸化炭素 (CO₂) の総量は

大きく削減できる。添加前と添加後の計量証明書を添付する。